情報局編輯
三月廿五日・第二百十三號・十セン

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

時の立札

蘭印早くも我に降り
ラングーン又わが手に溜つ
かくて、大東亜建設の礎石盤石の如く
彼等如何にあがかうとも
われら一億既に心決したり
ひたすらに絶對必勝の信念もて
西、ロンドンで入城式を
東、ニューヨーク沖で觀艦式を
さうだ、その日まで
きつと戰ひ抜くぞ

サンボアンガに敵前上陸

ンビリィフ島オナダンミ

比島方面帝國海軍部隊は三月二日ミンダナオ島西端の要衝サンボアンガに敵前上陸を敢行、月明の下猛然に火を吐く敵の十字砲火をくぐつて強引に敵に迫り、僅か三時間半あまりにして完全にサンボアンガを占領南海の誉高く軍艦旗を翻へした

サンボアンガはタヴァオに次ぐミンダナオ島第二の都會で、マニラ、ダヴァオ間の交通の要衝に當る良港であり、軍事的にはアメリカの第十軍管區として首都マニラ陷落後も敵は地の利を得んで長期抗戰を試みんものとしてゐた彼等の野望はこゝに全く打ち碎かれてしまつた

陸上前敵にガンアポンサ

1 わが艦艇からは巨砲火を吐き、敵補點に命中して暗黒の中に炎々と燃える

2 敵前上陸地をめざして進づまる進軍、船べりをたたく波の音だけがいやに高く響く

3 炸烈する砲彈、轟々たる戰車のひゞき、名にし負ふ皇軍の猛撃に敵は度膽を抜かれ、各所に放火して早くも逃避

4 彼國三時似半、敵は全くうちのめされてとるものもとりあへず逃走、堂々のわが入城とは成つた

5 監禁されてゐた邦人婦女子はいち早く救出され、夢にまで見た皇軍を涙で迎へた

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

あゝ恥辱永久に消ゆ

敵俘虜二十萬二千

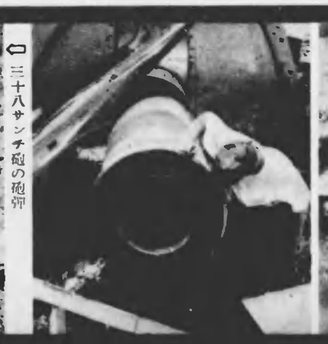
撮影　陸軍報道班

こゝに掲げた上段の寫眞は、シンガポール攻略戰に於ける俘虜の、それもごく一部分に過ぎない。開戰以來現在に至るまでのわが方の輝々たる戰果の中には、二十一萬を越えるといふ俘虜の數が含まれてゐる。僅か四ケ月足らずの間にこの何倍かの敵兵は、わが身に危險が及ぶと見榮も外聞もなく即座に武器を捨てゝ、わが軍門に降つたのだ。その中には勿論、各級指揮官など重い責任を有する者も多數含まれてゐる。

何といふ恥なき姿だらう。皇軍將兵は勿論、われ〳〵日本人には到底思ひも及ばないことだ。恥知らず奴！　と唾を吐きかける前に、憮然の情さへ湧いてくる……だが、瞰みて未だにこの人間共を支配したと同じやうな物の見方、考へ方かれ〳〵の心の隅のどこかに殘つてゐはしまいか。一死國に殉ずる皇軍將兵の壯絶な姿と、この醜い寫眞をよく見較べて、十分反省しなければならない

インド兵は、かつて喜んでゐるかも知れない。……濠洲兵は、早く故鄕に歸つてうまい酒でも呑みたいと考へてゐるだらう……英國兵の中には、或ひは厭厭を感じてゐるものがゐるか知れない。だが彼も命を祖國に捧げることはできなかつたのだ

三十八サンチ砲の砲彈



三十八サンチ砲の殘骸

わか方の正確無比な爆撃により破壞された三十八サンチ砲、敵が戰前シンガポール要塞の超弩級砲として世界に誇つてゐたもの

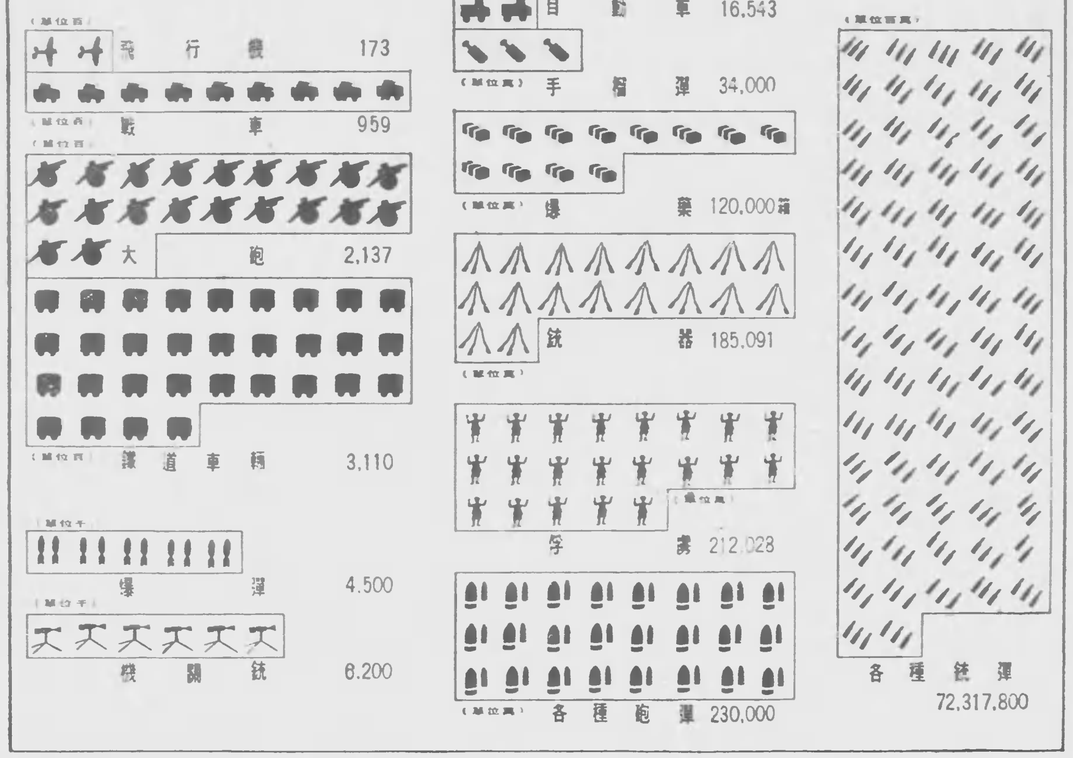
アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

大東亜戦争三ヶ月の日誌

中華民國
ビルマ
印度
佛印
タイ
ベンガル湾
マレー
ボルネオ
スマトラ
ジャワ
セレベス
フィリピン群島
ニューギニア
ダバオ
ダバオ湾
ダバオ湾口
ダバオ湾内
ダバオ湾頭
ダバオ湾奥
ダバオ湾外
ダバオ湾入口
ダバオ湾出口
ダバオ湾中央
ダバオ湾南岸
ダバオ湾北岸
ダバオ湾東岸
ダバオ湾西岸
ダバオ湾沖
ダバオ湾内港
ダバオ湾外港
ダバオ湾入港
ダバオ湾出港
ダバオ湾碇泊地
ダバオ湾錨地
ダバオ湾水道
ダバオ湾海峡
ダバオ湾島嶼
ダバオ湾群島
ダバオ湾諸島
ダバオ湾珊瑚礁
ダバオ湾環礁
ダバオ湾堡礁
ダバオ湾裾礁
ダバオ湾離礁
ダバオ湾岸礁
ダバオ湾沈礁
ダバオ湾暗礁
ダバオ湾浅瀬
ダバオ湾深所
ダバオ湾測深
ダバオ湾水深
ダバオ湾潮流
ダバオ湾潮汐
ダバオ湾干満
ダバオ湾満潮
ダバオ湾干潮
ダバオ湾大潮
ダバオ湾小潮
ダバオ湾中潮
ダバオ湾若潮
ダバオ湾長潮
ダバオ湾朔望
ダバオ湾上弦
ダバオ湾下弦
ダバオ湾月齢
ダバオ湾日齢
ダバオ湾時刻
ダバオ湾標準
ダバオ湾経度
ダバオ湾緯度
ダバオ湾位置
ダバオ湾方位
ダバオ湾距離
ダバオ湾測量
ダバオ湾海図
ダバオ湾水路
ダバオ湾航路
ダバオ湾灯台
ダバオ湾灯標
ダバオ湾浮標
ダバオ湾信号
ダバオ湾無線
ダバオ湾電信
ダバオ湾電話
ダバオ湾港湾
ダバオ湾施設
ダバオ湾桟橋
ダバオ湾岸壁
ダバオ湾埠頭
ダバオ湾倉庫
ダバオ湾荷役
ダバオ湾船舶
ダバオ湾艦船
ダバオ湾商船
ダバオ湾漁船
ダバオ湾軍艦
ダバオ湾潜水艦
ダバオ湾航空母艦
ダバオ湾巡洋艦
ダバオ湾駆逐艦
ダバオ湾水雷艇
ダバオ湾掃海艇
ダバオ湾哨戒艇
ダバオ湾輸送船
ダバオ湾病院船
ダバオ湾特務艦
ダバオ湾工作艦
ダバオ湾給油艦
ダバオ湾給水艦
ダバオ湾給炭艦
ダバオ湾給糧艦
ダバオ湾弾薬庫
ダバオ湾燃料庫
ダバオ湾倉庫群
ダバオ湾工場群
ダバオ湾造船所
ダバオ湾修理所
ダバオ湾ドック
ダバオ湾乾ドック
ダバオ湾浮ドック
ダバオ湾船渠
ダバオ湾入渠
ダバオ湾出渠
ダバオ湾進水
ダバオ湾竣工
ダバオ湾艤装
ダバオ湾試運転
ダバオ湾公試
ダバオ湾就役
ダバオ湾退役
ダバオ湾解体
ダバオ湾売却
ダバオ湾譲渡
ダバオ湾賠償
ダバオ湾接収
ダバオ湾没収
ダバオ湾拿捕
ダバオ湾捕獲
ダバオ湾鹵獲
ダバオ湾戦利品
ダバオ湾賞金
ダバオ湾賞与
ダバオ湾恩給
ダバオ湾年金
ダバオ湾遺族
ダバオ湾戦死者
ダバオ湾戦傷者
ダバオ湾捕虜
ダバオ湾俘虜
ダバオ湾収容所
ダバオ湾捕虜収容所
ダバオ湾俘虜収容所
ダバオ湾抑留
ダバオ湾釈放
ダバオ湾送還
ダバオ湾帰還
ダバオ湾復員
ダバオ湾引揚
ダバオ湾引揚者
ダバオ湾復員者
ダバオ湾帰還者
ダバオ湾戦没者
ダバオ湾英霊
ダバオ湾靖国
ダバオ湾護国
ダバオ湾忠魂
ダバオ湾碑
ダバオ湾記念碑
ダバオ湾慰霊碑
ダバオ湾顕彰碑
ダバオ湾墓地
ダバオ湾墓標
ダバオ湾墓碑
ダバオ湾墓誌
ダバオ湾墓銘
ダバオ湾墓碑銘
ダバオ湾墓誌銘
ダバオ湾墓碑文
ダバオ湾墓誌文
ダバオ湾墓碑銘文
ダバオ湾墓誌銘文
ダバオ湾墓碑銘文終
ダバオ湾墓誌銘文終
ダバオ湾墓碑銘文終了
ダバオ湾墓誌銘文終了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了了
ダバオ湾墓誌銘文終了了了
ダバオ湾墓碑銘文終了

赫々たる戰果（鹵獲品・俘虜）

（3月7日　ジャヴァ攻略戰果を含む）

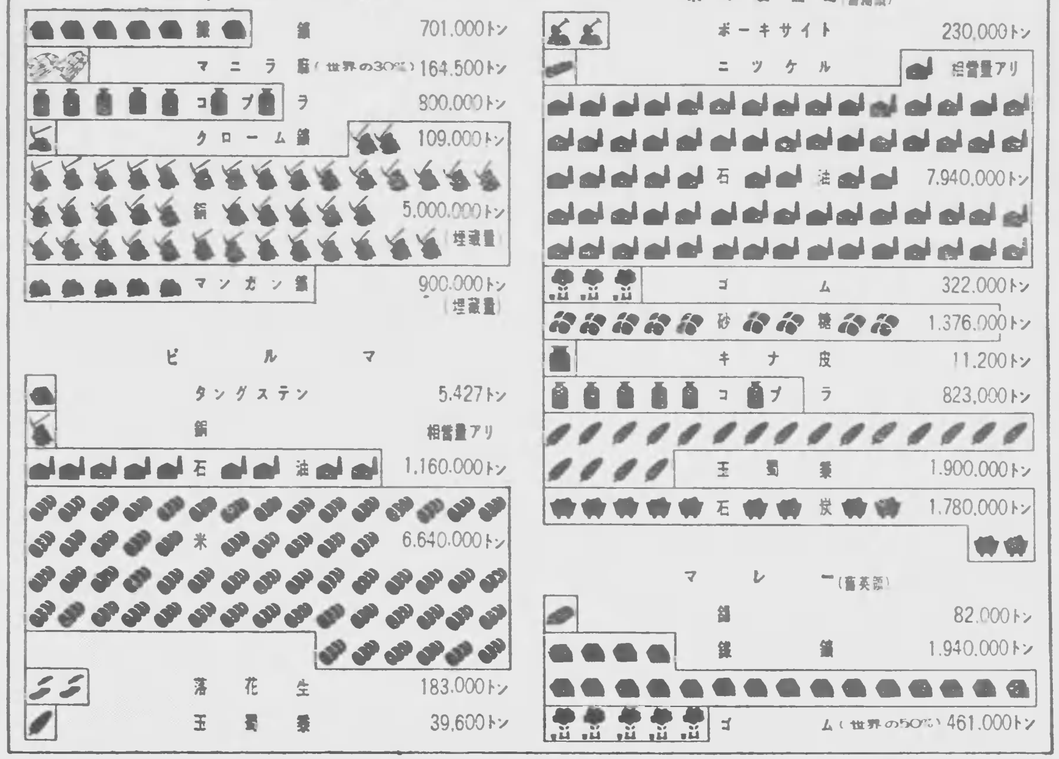


この世界の强大國米英を撃滅し、東亞の吾世界の新秩序を建設するまで戰ひ抜く決意を固めた私どもは日本としては、有利に展開された此の戰略態勢をいよ〳〵活用し、重要資源地域をわが管制下に收め、これによつてわが戰力を擴充しつゝ、さらに積極作戰に出て米英を屈伏せしめると共に、敵をして再び反抗せしめないだけの用意が必要であります。武力戰からいつても、まだ第一期作戰に成功しただけで、序の口に過ぎないのです。敵の包圍を破っただけで、息ふ存分戰ふのは正にこれからです。それには、何をおいても、軍備の擴充、生産力の擴充など、戰力を急速に充實させることが必要であります

南方開發は戰爭第一

南方作戰に成功したといへば、明日にでも資源がやつて來て生活が樂になるかに考へてゐる人が多いのですが、これこそ戰爭を忘れた恐るべき認識不足です。如何にも南方は寶庫です。上の圖表で見るやうに、重要物資、しかもほかにないゴム、錫、キナといふやうな物に惠まれてゐます。今まで敵米英に壓迫されてゐたからいふ戰略物資が、私どものものとなつたことは、大いなる强みでありますが、それがそのまゝ生活にピンと響くといふものではありません。南方開發も戰爭第一です。ストックだけで戰爭できるものではありません。開發し、取得しつゝ戰はねばならないのですから、南方でも石油とか銅とか、ボーキサイトとか、當面戰爭のためになくてはならぬものから手をつけ、輸送するのは當然です

輸送といふことが大變なことです。限りある船舶でこの大作戰を



やりつゝ、物も運ばねばならないのですから、たとひ南方に砂糖の山があつても、これをどし〳〵持つて來て、銃後のこどもたちを喜ばすわけにはゆかないのです。現に、樺太や北海道に、石炭の山があつても、持つて來てどし〳〵これを內地産業に供給する餘裕もない位なのですから…

だから、資源があるから、資源を手に入れたからといつて、すぐさま『持てる國』らしい生活が出來るのではありません。今の日本にとつては、當面の生活の豐ひを考へるより、國家百年の發展のために、生活の不自由をお互ひに忍んでも最後まで戰ひ得る大東亞圈防圈の確立と大東亞共榮圈の自給經濟を建設せねばなりません

大東亞共榮圈建設のためには、經濟的にもあちらからの持込みばかりではなく、こちらからの持出しも必要です。土着民族のために、彼等の必要とするものを、例へば綿布、雜貨などを豐かでない日本のお台所の中から苦面しても分けてやらねばならぬことも起りませう。さうして、大きな大東亞共榮圈建設の希望に向つてお互ひに手を握り合つてゆくところに、新らしい東亞は開けてゆくわけです

戰爭經濟への編成替

大東亞の建設、大東亞の自給自足經濟確立の達上には、日本及び東亞の經濟は大きな組みかへをせねばなりません。日本から考へれば、今まで困つてゐた重要物資を南方で得られることになつたのですから、これを加へて日本、滿洲、支那、佛印等を一丸とした物資動員計畫なり、生產擴充計畫なりを建て直さねばなりませんし、今まで米英のご都合主義で搾取の對象としか考へられてゐなかつた南方の經濟を彼等の支配から解放し、その力を發揮させることも必要でせう

それには、まづ日本の經濟が、知らず〳〵の中に毒されて來た米英的な自由主義的、個人主義的な理念から脫却して、眞に戰爭第一の戰ふ經濟になり切らねばなりません

ですから、日本が持てる國になつたから戰爭の目標に到達したとか、持てる國になつたから今までの統制經濟や消費規正が緩和されるなど考へるのは、とんでもないことです。こんな妥協的な、安易な戰爭觀こそ唾却せねばなりません。これからこそ、ほんたうの統制經濟になり、戰爭經濟になり、最後の勝利を得るまで、一切の國民生活を戰爭第一に引締めねばなりません

いくら惜しくても遊んでゐる機械などをつぶして、スクラップにして鐵にするといふやうな思ひ切つたことも行はねばならないのです。ですから一般民需が今日以上に不自由になることも覺悟せねばなりますまい

人の面からいつても、いよ〳〵苦痛の重點配置が行はれねばなりません。自分勝手の職業ではなくて、國家の必要とする仕事についての職域奉公の誠を效させねばならなくなつたのです

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

赫々たる戰果 艦艇・船舶		撃沈	大中破	殘存勢力
米	戰艦			13
	航空母艦（※上陸用艦は含む）			5
	巡洋艦			36
	驅逐艦			180
英	戰艦			13
	航空母艦			8
	巡洋艦			67
	驅逐艦			185
蘭	巡洋艦			
	驅逐艦			2
米英蘭	潛水艦			135
	その他の艦艇	撃沈破 41	拿捕 4	
	船舶撃沈 単位10萬	1,097		

赫々たる戰果 飛行機

撃破 1,757　撃破不確實 100　單位10機

撃墜 941　撃墜不確實 147　單位10機

米 英 蘭

撃破 撃墜 撃破不確實 撃墜不確實

このやうに、あらゆる面で戰爭態勢はいよ〳〵強化される趨勢にあります。しかしこれも、洋々たる大東亞共榮圈建設のためのしばらくの辛棒であり、國民への最少の負擔に過ぎないのであります

最近『南方から物が入つて來るから企業の整理統合などやる必要はない』とか『南方への物資供給のためにむしろ積極的に中小企業を育てるべきだ』とかいふ議論もあり、足踏みされてゐる方もありますが、國家の大局からみますと、大東亞戰爭を戰ひ抜き、大東亞共榮圈の盟主としての地位を確立するといふ大目的のためには、日本の産業の再編成をするためには、いやむしろ急いで中小企業の統合をやらねばならなくなつてゐるのです

といふのは、中小商工業者の整理統合は、單に商賣する物が少いから、材料が少いから、勞務動員の必要からといふだけでなく、日本の産業を合理的に組織替して、製造能率をあげると共に、物資配給を公正圓滑にしようといふ、さきにお話した戰爭經濟の根本問題の一つであることを知らねばなりません

戰爭生活に徹せよ

大東亞戰爭は外に米英撃滅の世界新秩序建設戰であると同樣、內にあつても、今まで私どもの心の隅に入りこんでゐた米英的なものの考へ方を淸算して、日本の政治、經濟、文化、思想、生活等の全領域に亘つて眞に戰ふ日本を建設する戰ひであり、これなくして大東亞戰爭の完遂はあり得ないのです

外にこの赫々たる戰果が擧げられてゐるとき、內にあつても國內建設の赫々たる戰果があげられねばなりません。ハワイ眞珠灣特別攻撃隊のあの純忠無比の姿に思ひを致すとき、銃後にももつと〳〵この日本精神の眞髓が發揚されねば申譯がないと思ひます

戰ひは長期に亘ることは必至です。敵は正面から武力を以て私どもを攻めて來られなければ、思想戰、神經戰を以て私どもの戰ふ心をねらつて來るでせう。戰ひの最後の鍵は、最後まで戰ひ抜く國民の精神力であり、必勝の信念であります。戰ひは信念に對する信念の戰ひに歸するのであります。私どもは、外との忠勇なる將兵の勞苦に應へ、この戰果を生かすためにも、內に大御心を體して、如何なる困難にも打ち勝ち、私ども一人一人がそれ〴〵の生活を通じて戰ひ抜いて行く決意を固めずにはゐられません

—四月一日發行週報特輯—

「戰爭生活讀本」參照

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

椰子も猿も日本晴れ

ボルネオ通信

⇨ 天皇陛下に盾として守りにつく

聖戦東亜諸島が三百餘年にわたるオランダの壓制と桎梏から解放されて、インドネシア人のインドネシアに歸ることが出來たのは、三月九日、奇しくも第三十七回陸軍記念日の前日であつた。三十七年前、率天大會戰において皇軍が決定的大勝利を占めた瞬間、東亞諸民族の胸の中にはアジア人のアジアといふ大きな夢が生れた

インドネシア人が『何時かは自分たちも』といふ秘かな願ひを持ち、その願ひを日本に對する信賴の中でじつと育て來たことはいふまでもない。三十七年目、今その夢は實現された

神兵來る！　各戰線における原住民のこの喜びこそ、大東亞戰爭の性格であり、聖戰の意義の端的な現はれであらう——皇軍將兵をめぐる新生ボルネオの風景を拾つてみた

⇨ 敵兵を追ひ詰められた、猿と戯れ樂しむ將兵

⇨ 平安囘る・喜びに海れ踊り狂ふ住民

森の中の唄

陸軍報道班　中村地平

信通一レマ

ゴム林の中の、あか土の道を、ある日僕は歩いてゐた

すると、色のくろい肥つた一人のマレーの男が僕の方に近づいてきた。男は僕の前に立ちどまると、突然二つの腕を車輪のやうにまはしはじめた。それから蛸をふくらませ、口をとがらして『シュウ、シュウ』と蒸氣を吐く眞似をした。まるで一臺の機關車が眼の前を走つてゐるのにそつくりである

僕が呆氣にとられてゐると、その男はポケットから小さな紙きれをとりだして僕につきつけて見せた。讀んで見ると紙きれには英文で書いてある

マレー人　アブバカ　三十五才

クルアン歸員なることを證す

アブバカと呼ばれるその男は、それからひどく早口の英語でなにごとかを話しかけてきた。察するに『クルアン歸でもう一度働きたい。何分よろしく賴む』といふ意味であるらしい。僕は拙い英語で『僕がその資格をもつてゐないことを僕は大變殘念に思ふ』と答へた。するとその男は『ああ、あなたは將校ではなかつたのか!!』と、いかにも心外なやうな、あはれむやうな眼ざしを殘してそこを立ち去つて行つた

×

二、三日たつた夕方、ゴム林の中の同じ道で、僕はまたアブバカに會つた。アブバカは上機嫌であつた。アブバカは相變らずの早口の英語で僕に話しかけてきた。『二、三日前からクルアン歸で日本軍のお世話になつてゐる。日本の兵隊は大變親切である。それから自分の家はすぐ近くだから、ちよつと立ち寄つてくれ』といひだした。有無をいふひまもなく、僕は彼の太い逞しい腕で彼の家に引つぱられたのである。アブバカは言つた

『イギリス人は日本軍がマレーに入つてくるには三年はかゝるといわれもにいつてゐた。それがこんなに早くこゝへ來るとは驚いたもんだ』

それから彼は籐椅子の上でクラレをかきならしながらパントンを唄つてくれた。パントンといふのは土地の民謠のことであるが、アブバカが唄つた歌を意譯すると次のやうになる

わしが胸んなかを　さあさ　聞きやんせ　日本の兵隊さん

バナナがどんなに甘くとも　僧はそれよりなほのぼる

蜂がどんなに高くても　わしが思ひはもつと高い

簡素なメロディが終つたとき、僕はいつた。『君の歌も結構であるが、もつと勇壯な、たとへば日本の軍隊を耿つたパントンを聞かせて貰ふわけにはゆくまいか』するとアブバカは答へた。『私は詩人でないから、パントンを作ることはできない。けれど私の叔父のアブダラヒムならあなたの所望にこたへられるに違ひない。あした來て貰ひたい』

×

翌日、僕は再びアブバカの家に行つた。そしてアブダラヒムが作つたパントンといふのを貰つてきた。その一、二節を次きに紹介する（註の意味は筆者による）

日本軍隊を讃ふ

ヨップ・アブダラヒム

日本が勝利を得たのは
神の御心にかなつたからだ
サイゴンの國から　タイの國
おつぎの番が　ケダの國
日本兵は風のやうに進む
ジョンブルの大砲など
物の數でない
スマラン、ゲマスでは休みもせず
日本兵はシンガポールで
轟く息をつい
飛びくる敵の小銃彈を
日本兵は指の中に握りつぶす
神か、鬼か、日本兵は!!

⇦ 日本の子供達にとつては、兵隊さんはいつでも優しい兵隊さんである、ボルネオの子供にとつても…

撮影　支那派遣軍報道班員

航空萬年筆

陸軍報道班　秋永芳郎

爆撃將校のF中尉は、いつものやうに日記帳をひろげ、萬年筆をとりだした。わびしい蠟燭の灯影に、愛用のその萬年筆をじつとみつめると、キャップのところにインキがにじみ出てゐる

『あゝ、けふも〇千メートル以上の高空を翔け廻つて、歸つてきたのだなあ』

彼の胸にはインキのやうに感慨がしみついてくる

高空の空氣の壓力の變化は萬年筆のインキにも作用し、キャブとキャップをしめてゐてもインキが洩るのだつた。そのやうな變化はたゞ物理的な變化としてF中尉に訴へはしない。インキのシミの中に彼の今日の生活があるからだ。戰果をもつて急降下襲撃をする。高射砲彈の憤怒は、眼の前に何十本と線香をたてたやうに飛び上つてくる。ぱつと炸裂したそのあと、まだ殘像が花のやうに咲いてゐるその中へ、愛機はつつこんでゆくのだ。ブグッと胃にこたへてくるショック——硫黄のにほひが鼻を刺してくる。彼はレバーを押す。さうしてやつと死線を超えてゆく

基地に歸り、旋回しながら中隊のビストがひしやげたキャヲメルのやうに映つてくるとき、彼はほつとする。日本人であることが有難くなつてくる。自分たちの戰果が、先人たちが、死地にいや死空に、いさぎよく飛び込んでも、敢然よろこびを感じ得る精神を、傳統としてのこしてくれたからだ

F中尉は今夜もまた、故國の美しき山河を網膜に浮かべながら、インキのしみついた萬年筆で、マレー戰線の赤誠記錄をつゞるであらう

信通一レマ

今月の問題

立派な人に出て頂きませう
翼賛選擧の貫徹へ

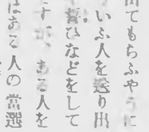
いよ〳〵四月三十日を期して衆議院議員の總選擧が行はれることになりました。私たち國民はいま建國以來の重大的な發展を眼の前にみて、ひたすら國道を實踐し上御一人の御まつりごとを翼賛し奉るといふ氣魄と至誠に燃えてゐます。この國民的な氣魄と至誠とをこんどの總選擧にあらはしませう。即ち、こんどの選擧ではこれまでのやうに單に選擧を肅正するといふだけでなく、眞にこの人ならばと思はれる人材を動員して清新潑剌たる翼賛議會をつくりあげませう。それにはこれまでのやうに『投票してやる』といふ考へ方は根本から改めて、どこまでも立派な人材に『出て頂く』といふ考へ方をもたなければ國家のため死を賭して働くだけの人物を議會に動員することはできないでせう

當會でも今度の『大東亞戰爭完遂翼賛選擧貫徹運動』に協力して、立派な人に出てもらふやうに相談したり、さういふ人を送り出すやうに申合せや誓ひなどをしていただきたいのですが、ある人を當選させ、またはある人の當選を妨げるやうな內容に耳らないやう注意をする必要がありま

お國の寶を強く正しく
少年保護の強化へ

四月十七日は少年保護記念日です。今年は少年法が公布されてから丁度二十周年に當りますので、四月八日から十七日までを少年保護運動旬間として全國に運動が展開されることになりました

少年はお國の寶であり、國力の基でありますから、皇國の大きな發展に備へるためにはこれをどこまでも強く正しく育て上げなければなりません。ところが戰時下にあつては殘念ながら少年の犯罪が增加する傾向を辿つてゐます。その原因の一つは成人勞働者の不足から少年勞働者が增加し、これらの少年たちが急に收入がふえたことからつい飮食店に出入したり、遊興に耽ることがあげられ、また父兄が戰線に立つた後の家庭で何かと手不足のため少年の保護や監督が行屆かないといふことも大きな原因とされてゐます。しかし何といつても、少年を犯罪へかりたてる曲者は暇と金とであるやうです。質金をもらふ、暇ができた、先づ食ふ、次ぎに飮む、そして遊ぶ、この新らしい輕蔑に少年はつてしまふのです。そして、その結果が金につまる、金をつくるために物を盜んで警察の厄介になる、そして忘れられない遊びの生活だけが殘る。大概の場合、惡の道はきまつてゐます。したがつて少年の不良化を防ぐためには健全な娛樂を與へて暇を善用させること、金錢の使ひ方に對する訓練をしてやることが最も必要です。しかし一方、罪を犯した少年に對してはこれを大切に保護錬成して一日も早く陛下の赤子としての本心にたちかへらせなくてはなりません。お互ひに子をもつ父兄は日常よく連絡して適切に保護措置をとつてやりませう。隣組でもこの機會に少年の不良化防止について相談し、いけない子供を一人も出さぬやうに致しませう



戰果に劣らぬ決心で
二百三十億貯蓄の達成へ

昭和十七年度の國民貯蓄目標額は二百三十億圓と決定しました。これは昨年度の當初目標額百三十五億圓より（後に百七十億圓に增加されましたが）約百億圓即ち七割の激增であつて、これを達成することは實に容易なことではありません。しかしこの目標額は大東亞戰爭の完遂と大東亞共榮圏の建設のためにどうしても必要なのです。私たちはこれまでもできるだけの貯蓄を實行してきました。そして誰もがぎり〳〵まで貯蓄してゐると考へてゐるにちがひありません。しかしお互ひが最低の戰時生活を實踐したら、またさらに勤勞を强化して收入の增加をはかつたら、まだ〳〵貯蓄の餘地はまる〴〵です。こゝが我慢のしどころではないでせうか。いまわが國がこんなにも大きな戰ひをつゞけてゐるのだといふことを考へたら、そしてきたこんなにも大きな戰ひをつゞけてゐるにもかゝはらず私たちが心豊かに生活してゐることを考へたらこのくらゐの我慢は何でもないといはなければならないでせう。もはや今日では貯蓄といふ

滿洲國から謝恩特派大使來訪す

三月十六日

滿洲國皇帝陛下には前八時四十五分東京驛着、驛頭を埋める數千の人波の中を晴れの入京をした。なほ特派大使一行は同日より八日間にわたり滿洲國皇帝陛下には滿洲國建國十周年の佳き年に當り、わが皇室を始め奉り一億朝野に對し感謝の至情を披瀝せられるため、この程ど謝恩特派大使として張國務總理をわが國に派遣されたが、張特派大使一行は三月十一日新京を出發、十六日午

東京驛頭で東條內閣總理大臣の出迎へをうける張景惠國務總理 ⇩

青京早々天機ならびに御稜奉伺の起帳のため宿舍帝國ホテルを出る張特派大使 ⇦

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

收回鉄盾らか底の海

靜岡縣清水港

⇧採算はとれなくとも、鐵板、イカリ、ワイヤー、チェーン、タイヤー、石炭、木材すべて陽の目を見れば立派な國の寶だ

⇦しっかりやつてくれと水上署員の激勵

撮影　加納　恭平

靜岡縣清水港の春漸く酣な海上に、潜水夫を使つて海底の資源を拾ひ上げてゐる和船がちらほら。清水市鈴與商店の大瀧長吉さんが名義人の資源回收船である。清水港は開港の歴史も古く、出入貨物も年百數十萬トンに及ぶ商港であるだけに、長年に亘る貨物の積み下ろしに際つて水中に落ちた資源は少くないと見られてゐた。こゝに着目した大瀧さんは、今の時節に海底に寶を眠らせておいては勿體ないと、仕事の合間を利用しては回收に當つてゐる

×　×

今日、われ／＼はどうかすると、マレーも蘭印も手中に收めたからもう資源は大丈夫だ、といつたやうな一種の安心感に囚はれやすい。しかしこれはとんでもない危險であろ。成程石油、ゴム、錫等の資源は大いに活用し得る地位になつたが、重鋼等の重要金屬や動力資源としての石炭は南方に期待することは無理である。さてこそ今後一段と馬力をかけてこれらの物資の增產や消費規正はもちろん、國内に眠る金屬資源回收に努力せねばならないわけである

就中、鋼の特別回收は昨年秋以來、全國的に行はれた大が、一般家庭からの供出は、愛國の赤誠を反映して相當の好成績を擧げたに反し、工場や會社、銀行、劇場、映畫館、旅館、料理屋等十九種の所謂特別施設にあつては、殘念ながら成績は決して芳しくなかつた

バタアン半島の嶮崖に陣を布いて日夜超人的な攻撃を續けてゐる兵達たちが、食後雜話や寢藁を廢物箱に入れてはまた進擊してゐるといふ報告が前線から傳へられたが、彈丸雨飛の中、明日をも知れぬ身ながら長期戰を覺悟して死んでも御祖國を勝たせようとの一念には、腕を擧かれる思ひがする

前線兵隊のこの氣持を思ふにつけ、或ひは零細な海底の資源でもこれを拾ひ上げて活かさうとする心がけを見るにつけ、どうかこの際、一般家庭はもちろん、特に特別施設の鐵鋼回收には率先して協力願ひたいものである

⇧今日の重い荷物はこの邊だ、と張切る回收船に秀麗富士がほゝえみかける

⇦春とはいひながら水はまだ冷たい、しびれる手足に力を入れて海底を洗ふ

あるわ、あるわ、漆黒のきれいな石炭は、すぐにも貴重な燃料として使へる

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp

把つた手綱に國護る心意気

⇨鍬を背負つて、手綱をとつて――凛々しい。美しい。かういふ風俗の中に日本女性の新らしい美が創造されなければならないのであるが、當時は殆んどこれを觀るものがなく、かへつて『女だてらに』といふ不評さへ買つたといはれる。ところが時局の進展と共に、銃後を、即ちみ國の土を守り抜かうといふ農村女性の熱意は、安閑として何時までも家の中に止つてゐることを許さなくなつた。自ら馬を曳つて田畑に立つ女性が年を逐ふて増加し、やがては全村あげての頼もしい風潮となつたのである。かくして女子畜耕班は、農村女性の盛り上る銃後意識の中に自然に成長して來たのであるが、現在では住吉村婦人會と女子青年團の殆んど全員が參加し、農會長の下に強力な組織を持つて、共同耕作、出征家族及び遺族の手助けなどに男子に劣らぬ役割を果し、食糧増産の一翼をしつかり擔つてゐる

大東亞戰爭の勃發と共に銃後女性の生活態度は一段と飛躍をとげた。未曾有の戰果に應へ『わたしたちも出來るだけお國のお役に立ちたい』といふけなげな決意が女性の生活の中に浸透し、國内戰線の至るところに男まさりの戰果を收めつゝあるのだ

こゝに紹介したのは、宮崎縣宮崎郡住吉村女子畜耕班の逞しい活躍ぶりである

支那事變勃發後間もなく、村の男子が續々と勇躍出征し、農繁期には著く手不足が感ぜられるやうになつた頃、村の進歩的な女性は自ら手綱を把り、鍬を揮つて田畑に立つた。これが現在見られるやうな堂々たる住吉村女子畜耕班の始まりとなつたのであるが、當時は殆んどこれを觀

宮崎縣住吉村
女子畜耕班

⇦農繁期を中心に、乙女たちは精一杯の敢闘を續ける。戰果に應へ銃後を守り通すべく

⇦黒土にうらゝかな春の日が照り映えて、ほのかな湯氣が立ち上る。あゝ、土の香。上氣した乙女の頬も逞しい勤勞に輝く

⇦這家族を訪れて『お手傳ひさしていたゞきます』の御挨拶。老夫婦も心から乙女たちの手助けを喜んでゐる

⇨畜耕班長が各班長を召集してそれぞれ命令を傳達する。さあ、明日から一糸乱れぬ女子畜耕班の活動が始まるのだ

撮影　梅本　忠男

⇦春の水は未だ冷い――が、彼女たちの手先は心一杯今日一日の勞役を共に勵んでくれた愛馬をいたはる

原本不明瞭

戦捷第二次祝賀の日

三月十二日

御稜威の下、破武世界に比類なき皇軍の前に敵なく、さきにシンガポールが陥落したのを機に行はれた戦捷第一次祝賀の後の戦果はまた一ときは目覚しいものがあつた

ビルマでは、その首都ラングーンを衝き、さらに蘭印方面では、蘭米英聯合艦隊を撃滅するとともに、ジャヴァ島攻略部隊は上陸後九日にして蘭印全軍を無條件降伏させた

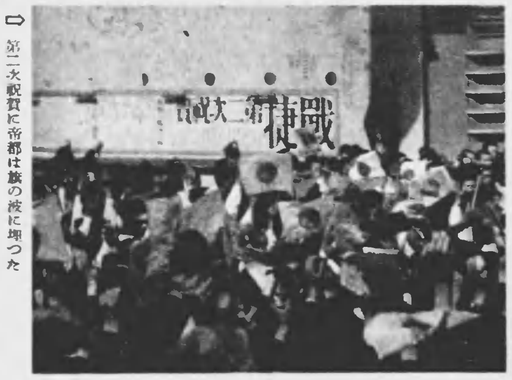
世界戦史上未曾有の偉勲を樹てた

この皇軍の偉勲を讃へて、われ〳〵は三月十二日心の奥底から戦捷第二次の祝賀を行つた。全国津々浦々から一大奔流となつて湧き上つた感激こそ、御民われ、生けるしるしありの古歌そのまゝに、この栄ある御代にあへる一億国民の光栄にむせぶ歓喜の血潮であつた

⇧喜びを鼓笛に托し、宮城前へ向ふ東京市女学生の鼓笛隊

祝賀当日の正午、三重県桑名駅においては、乗客がホーム上で、護国の英霊に黙禱を捧げ併せて皇軍の武運長久を祈願した（撮影　矢野榮一郎）

⇨第二次祝賀に帝都は旗の波に埋つた



復習帳

本號からあなたは何を學んだでせうか。

1 わが占領或ひは制圧下となつた香港、マレー、フィリピン、蘭印東印度諸島、ビルマの六地域を本部合せると、面積において日本本土の何倍のどの位になりますか　ほゞ同じ・約二倍・約三倍・約五倍・約十倍・約二十倍。（9頁）

2 開戦以来三ヶ月間に撃沈破した敵艦船は一三萬位・五萬位・十五萬位・二十萬位・百萬位。（11頁）

3 こんど枢軸国から脱退した国は一行が来訪されましたね、さて、一行の目的は？（17頁）

4 わが陸海軍部隊は三月八日未明○○島東岸のラエ並びにサラモアに敵前上陸を敢行、これに成功した（8頁）

5 買物通帳ですから、常食では節約さんに役立ませうと決めた方がいゝでせうか。（10頁）

6 マレーの原住民と日本の兵隊さんが話をしてゐます「君はなか〳〵バンドンがうまいね」「では、もう一つ」さてバンドンとは一民謡？物産似？舞？（14頁）

7 フィリピン、マレー、東印度等南方のわが占領地域からはゴムや錫や石油等の重要資源が確保されたさうですね、ところで錫は何地域に期待できませうか？（18頁）

8 開戦わづか三ヶ月にして敵国の受つた損害のうち左のものについてなるべく正確な数字を入れて下さい　撃沈艦　航空母艦○隻　艦隊艦○隻　潜水艦○隻　撃墜破飛行機○機……（12頁）

9 国民貯蓄の十七年度の目標額は一八十億・百二十億・百三十億・百五十億。（16頁）

10 クチンといふところがボルネオ島にありますが、大體どの邊に當りませう　昭南の當り・フィリピン當り・ジャヴァ島當り・セレベス島當り……（8頁）

一問十點としてあなたは何點でしたか。

寫眞週報　臨時號
申込所　全國各地指定販賣所　書店　新聞販賣店
定價　一部十錢
▲特大號の御申込は御注意下さいます
▲特大號の御申込は御注意下さいます
▲特大號の御申込は御注意下さいます

寫眞週報

第二回戰時

貯蓄債券

國債報

金還債期滿の券債蓄貯興復
れなにひ買おを券債時戰て
すまへ賣が金奬換乘ば

賣出・四月一日⬅三十日

大東亞省・遞信省・日本勸業銀行

内閣印刷局印刷發行

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/